

議案第26号

二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を別紙のように改正する。

平成28年2月26日提出

二宮町長 村田 邦子

〔提案理由〕

行政不服審査法の改正により、制度が全面的に見直されたこと及び非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、本条例に必要な改正をするために提案する。

## 二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

二宮町消防団員等公務災害補償条例（昭和42年二宮町条例第11号）の一部を次のように改正する。

第25条の見出しを「（審査請求）」に改め、同条中「異議申立」を「審査請求」に改める。

附則第5条第2項の表1の項右欄中「0.86」を「0.88」に改め、同表2の項右欄中「0.91（第1級又は第2級）」を「0.92（第1級）」に、「0.90」を「0.91」に改め、同条第5項の表中「0.86」を「0.88」に改める。

### 附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の二宮町消防団員等公務災害補償条例附則第5条第2項及び第5項の規定は、この条例の施行の日以後に支給すべき事由の生じた二宮町消防団員等公務災害補償条例第4条第3号に規定する傷病補償年金（以下この項において「傷病補償年金」という。）及び同条第2号に規定する休業補償（以下この項において「休業補償」という。）並びに同日前に支給すべき事由の生じた同日以後の期間に係る傷病補償年金について適用し、同日前に支給すべき事由の生じた同日前の期間に係る傷病補償年金及び同日前に支給すべき事由の生じた休業補償については、なお従前の例による。

二宮町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の新旧対照表

改正後	改正前						
<p>(審査請求)</p> <p>第25条 町の行う非常勤消防団員等の死亡、負傷又は疾病が公務又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによるものであるかどうかの認定、療養の方法、損害補償の金額の決定その他損害補償の実施について不服のある者は、町長に対して、<u>審査請求</u>をすることができる。</p> <p>附 則 (他の法律による給付との調整)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 年金たる損害補償を受ける権利を有する者が、当該年金たる損害補償の事由となった障害又は死亡について次の表の左欄に掲げる年金たる損害補償の種類に応じ同表の中欄に掲げる法律による年金たる給付の支給を受ける場合(前項に規定する場合を除く。)には、当分の間、この条例の規定にかかわらず、この条例の規定(第19条の2を除く。)による年金たる損害補償の額に、同表の左欄に掲げる当該年金たる損害補償の種類に応じ同表の中欄に掲げる当該法律による年金たる給付ごとに同表の右欄に掲げる率を乗じて得た額(その額が当該年金たる損害補償の額から当該年金たる損害補償の事由となった障害又は死亡について支給される同表の中欄に掲げる当該法律による年金たる給付の額を控除した残額を下回る場合には、当該残額)を支給し、その額に50円未満の端数があるときは、これを切り捨て、50円以上100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に</td> <td style="width: 33%;">1 障害厚生年金等 2 (略)</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">0.88 (略)</td> </tr> </table>	1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に	1 障害厚生年金等 2 (略)	0.88 (略)	<p>(異議申立)</p> <p>第25条 町の行う非常勤消防団員等の死亡、負傷又は疾病が公務又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことによるものであるかどうかの認定、療養の方法、損害補償の金額の決定その他損害補償の実施について不服のある者は、町長に対して、<u>異議申立</u>をすることができる。</p> <p>附 則 (他の法律による給付との調整)</p> <p>第5条 (略)</p> <p>2 年金たる損害補償を受ける権利を有する者が、当該年金たる損害補償の事由となった障害又は死亡について次の表の左欄に掲げる年金たる損害補償の種類に応じ同表の中欄に掲げる法律による年金たる給付の支給を受ける場合(前項に規定する場合を除く。)には、当分の間、この条例の規定にかかわらず、この条例の規定(第19条の2を除く。)による年金たる損害補償の額に、同表の左欄に掲げる当該年金たる損害補償の種類に応じ同表の中欄に掲げる当該法律による年金たる給付ごとに同表の右欄に掲げる率を乗じて得た額(その額が当該年金たる損害補償の額から当該年金たる損害補償の事由となった障害又は死亡について支給される同表の中欄に掲げる当該法律による年金たる給付の額を控除した残額を下回る場合には、当該残額)を支給し、その額に50円未満の端数があるときは、これを切り捨て、50円以上100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に</td> <td style="width: 33%;">1 障害厚生年金等 2 (略)</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">0.86 (略)</td> </tr> </table>	1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に	1 障害厚生年金等 2 (略)	0.86 (略)
1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に	1 障害厚生年金等 2 (略)	0.88 (略)					
1 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に	1 障害厚生年金等 2 (略)	0.86 (略)					

改正後

改正前

係るものを除く。)		
2 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に係るものに限る。)	1 障害厚生年金等	0.92 (第1級の傷病等級に該当する障害に係る傷病補償年金にあっては、 <u>0.91</u> )
	2 (略)	(略)
3~6 (略)	(略)	(略)

係るものを除く。)		
2 傷病補償年金(第18条の2に規定する公務上の災害に係るものに限る。)	1 障害厚生年金等	0.91 (第1級又は第2級の傷病等級に該当する障害に係る傷病補償年金にあっては、 <u>0.90</u> )
	2 (略)	(略)
3~6 (略)	(略)	(略)

3・4 (略)

3・4 (略)

5 休業補償を受ける権利を有する者が、同一の事由について次の表の左欄に掲げる法律による年金たる給付の支給を受ける場合には、当分の間、第8条の規定にかかわらず、同条の規定による休業補償の額に、同表の左欄に掲げる当該法律による年金たる給付の種類に応じ同表の右欄に掲げる率を乗じて得た額(その額が当該休業補償の額から同一の事由について支給される当該法律による年金たる給付の額(当該法律による年金たる給付の数が2である場合にあっては、その合計額)を365で除して得た額を控除した残額を下回る場合には、当該残額)を支給する。

5 休業補償を受ける権利を有する者が、同一の事由について次の表の左欄に掲げる法律による年金たる給付の支給を受ける場合には、当分の間、第8条の規定にかかわらず、同条の規定による休業補償の額に、同表の左欄に掲げる当該法律による年金たる給付の種類に応じ同表の右欄に掲げる率を乗じて得た額(その額が当該休業補償の額から同一の事由について支給される当該法律による年金たる給付の額(当該法律による年金たる給付の数が2である場合にあっては、その合計額)を365で除して得た額を控除した残額を下回る場合には、当該残額)を支給する。

(略)	(略)
障害厚生年金等(当該損害補償の事由となった障害について障害基礎年金が支給される場合を除く。)	<u>0.88</u>
(略)	(略)

(略)	(略)
障害厚生年金等(当該損害補償の事由となった障害について障害基礎年金が支給される場合を除く。)	<u>0.86</u>
(略)	(略)

6・7 (略)

6・7 (略)